

ファクタ検出エンジン(FDE)

ファクタ検出エンジン(FDE)は、構文解析器による単文化・主格の補完、入力文からファクタを抽出、抽出したデータを対話・検索・分析に応用します。

ホワイトボックス AI とブラックボックス AI

AI と言えば有名なディープラーニングがありますが大量のデータからコンピュータ自らが知識を獲得することを最大の特徴とし画像認識や分類を行う業務で成果をあげています。

しかし、その結果に至った根拠を説明できないことが AI (ディープラーニング) のブラックボックス問題の一つとして懸念されています。そこで、現在注目が集まっているのが、判断・推定結果に至るプロセスが説明可能になっている『ホワイトボックス AI 』です。

自然言語処理のホワイトボックス AI 「ファクタ検出エンジン (FDE) 」

一般的に、AI 活用では自然言語の文章を大規模に集積したコーパスを使用します。

しかし、コーパスにはブラックボックスとなっている課題が…

- 課題 1 : コーパスでは単語の類似性と関連性を区別できない
(ブレーキとアクセル : 関連はあるが、真逆機能)
- 課題 2 : コーパスでは単語の曖昧さを十分には考慮できない
- 課題 3 : コーパスに依存が基本
- 課題 4 : ニューラルネットワークの限界
- 課題 5 : ディープラーニングではコストが無限にかかる
- 課題 6 : 説明責任が果たせない、安心感がない、改善向上が困難
(ブラックボックス AI の 3 大課題)

ブラックボックス AI の 3 大課題

説明責任
が果たせない

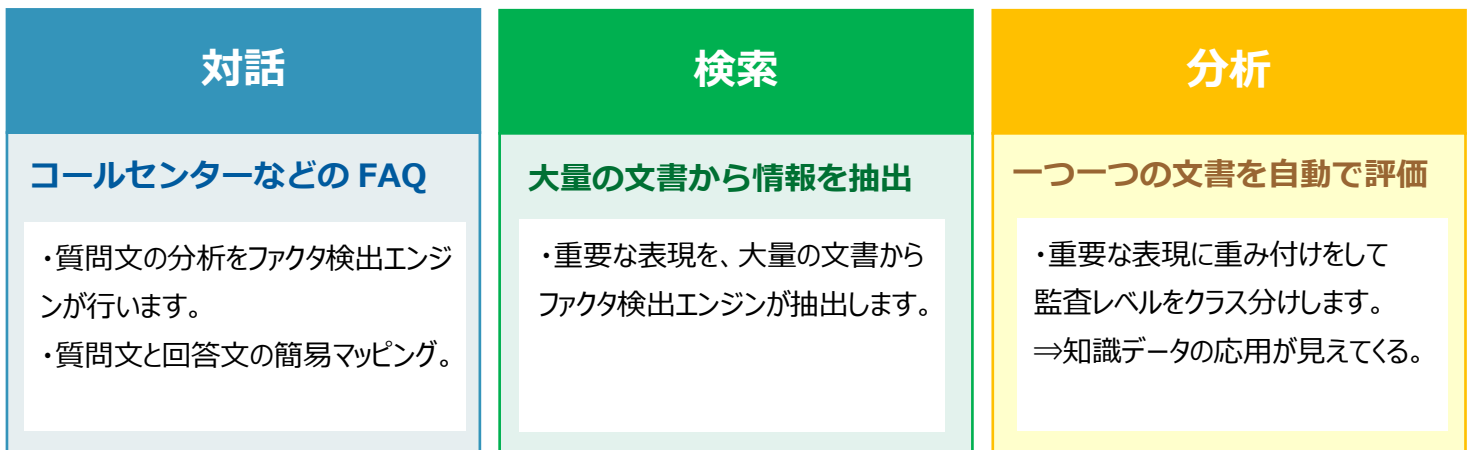
どんな振り舞いをする
か保証できず
安心感がない

人間に理解できる
理由説明がなく
改善向上が困難

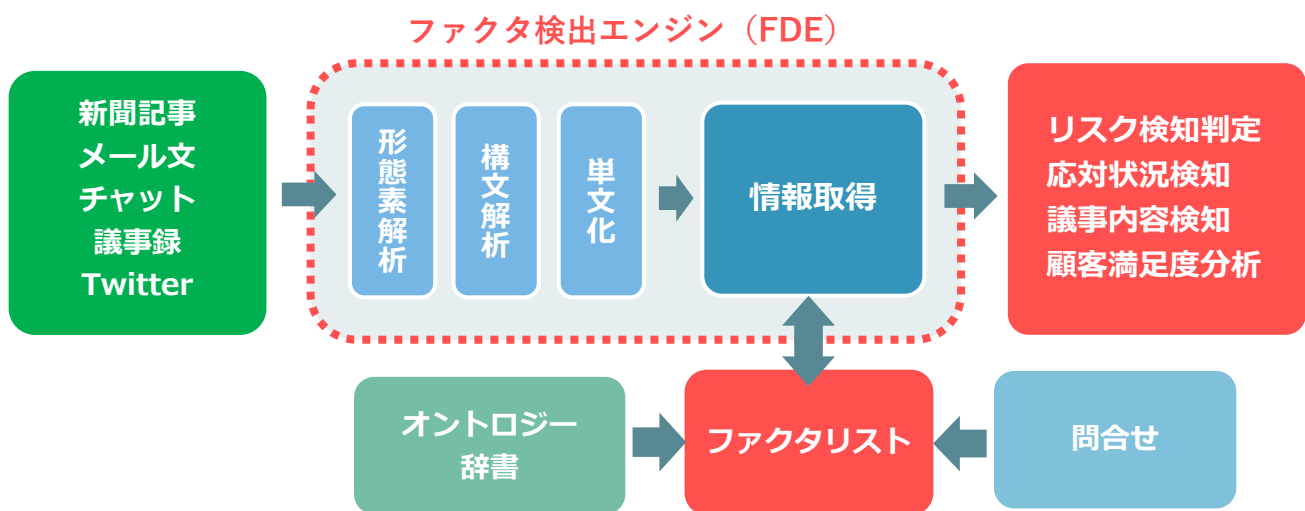
ホワイトボックス AI なら課題解決

ファクタ検出エンジン(FDE)は、日本語の構文ルールに基づきプログラムされていますのでビッグデータを必要としません！！

ファクタ検出エンジン(FDE)の3つの応用

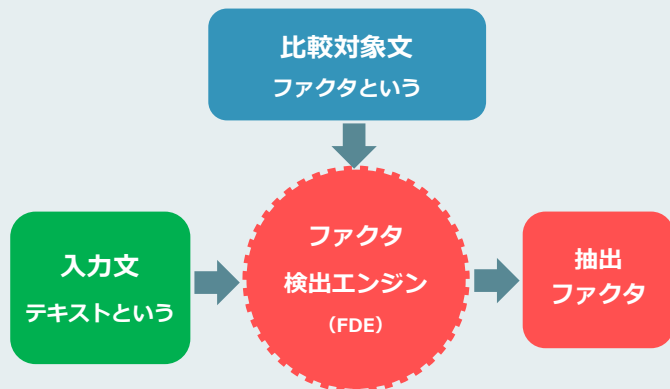


ファクタ検出エンジン(FDE)のしくみ



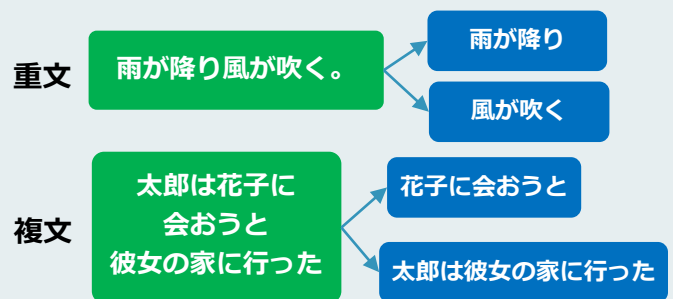
文と文の構造的比較を行う

入力文に比較対象文が含まれているかを判定する

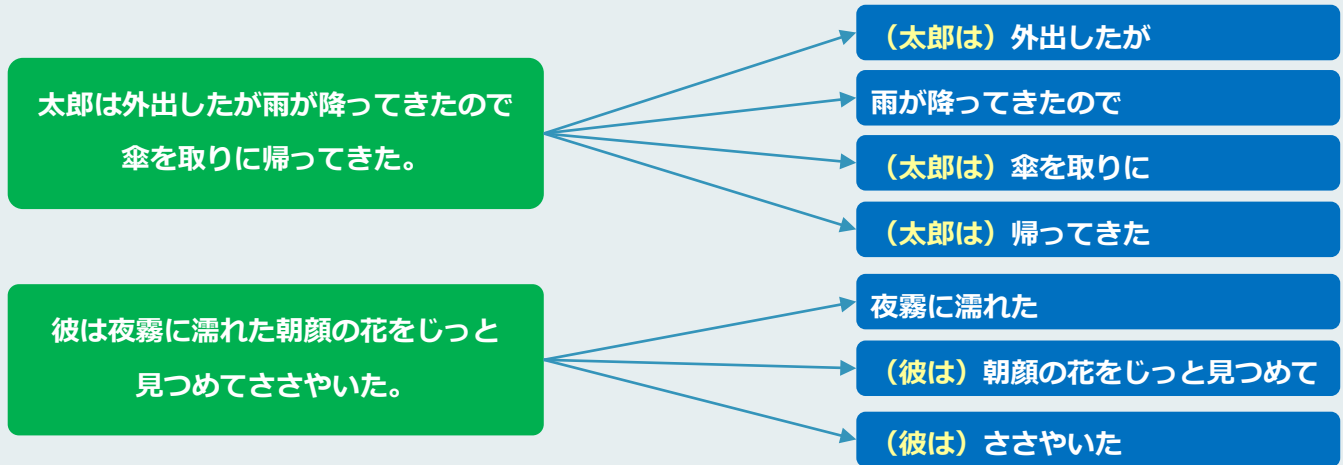


構文解析器によるフラット化

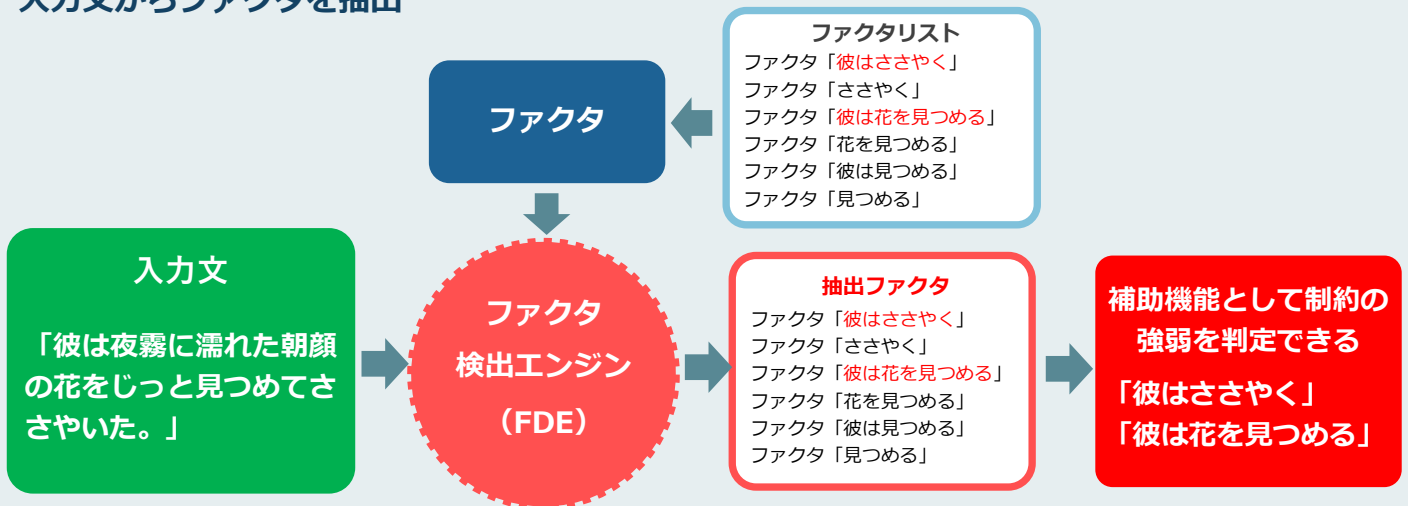
フラット化とは、日本語の重文・複文を単文に分割し、文の構造をコンピュータにとって理解しやすい形にすること。



構文解析器による補完



入力文からファクタを抽出



ソフネック株式会社

〒151-0053

東京都渋谷区代々木 1-21-10 インターパーク代々木 4 階

e-mail : contact@sofnec.co.jp HP : <https://www.sofnec.co.jp/>

詳細はこちらよりお問い合わせください。